

桐 生 市 教 育 委 員 会 定 例 会 会 議 録	
開 会	令和7年9月29日（月）
閉 会	令和7年9月29日（月）
場 所	教育センター 3階 教育委員会室
出席者	教育長 小 林 一 弘 委 員 板 橋 英 之 委 員 山 野 玲 子 委 員 松 本 昭 彦 委 員 小 池 亮 子
欠席者	なし
説明のため 出席した職員	教育部長 教育部参事 総務課長 学校教育課長 教育環境課長 生涯学習課長 文化財保護課長 図書館長 森 広 一 渡 邊 真 宏 峯 岸 孝 徳 須 藤 英 隆 糸 井 広 江 小 野 里 篤 史 向 田 澄 枝 下 山 理 枝
事務局職員 出席者	庶務係長 山 本 江美子 庶務係（担当） 栗 原 有 美
時 間	開 会 午前 11 時 00 分 閉 会 午前 11 時 32 分

提 出 議 案		
議 案 番 号	件 名	結 果
議案第 23 号 議案第 24 号	桐生市いじめ問題専門委員会委員の委嘱について 令和 7 年度末県費負担教職員及び市費負担教職員人事方針 案	秘密会にて審議 秘密会にて審議
発 言 者	発 言 内 容	
教育長	それでは、これより桐生市教育委員会 9 月定例会を開会いたします。 ただいまの出席者は、5 名であります。 直ちに会議を開きます。	
教育長	日程第 1 会議録署名委員の指名を行います。 会議録署名委員は、会議規則第 18 条の規定により、山野委員を指名いたします。	
教育長	日程第 2 会期決定の件を議題といたします。 お諮りいたします。 今期定例会の会期は、本日 1 日といたしたいと思います。 これにご異議ありませんか。 <異議なしの声>	
教育長	ご異議なしと認めます。 よって、会期は本日 1 日と決定いたしました。	
教育長	日程第 3 事務報告について を議題といたします。 課ごとに順次報告をお願いいたします。 (総務課から順次、建制順に事務報告)	
教育長	ただいまの事務報告について、質疑に入ります。 委員の皆さんから、何かございますか。	
板橋委員	二つありますが、一つはサイエンスフェスタについて。昨日開催されました。ありがとうございました。保護者の方も参加していただいていた大変良かったかなと思います。ただ、参加者がちょっと少なかったのも、何か理由があれば伺いたいというのが 1 点。2 点目が中学生の海外派遣事業について、10 名の生徒が体験されたということですが、その生徒が自分のクラスや学校で	

学校教育課長	他の生徒に体験を話す機会はあるのでしょうか。 昨日はサイエンスフェスタ大変お世話になりました。申し込みが今年度 22 名ということで、昨年度とほぼ同数でした。昨年度の課題として参加生徒数を増やすことを目標に今年度の計画を立ててまいりました。昨年は夏季休業中の平日に開催をいたしました。暑い中、群馬大学まで市内の中学生が自分の力で行くことが難しいので保護者の力を借りなければならないということで、まず一つ検討事項として休日開催にして保護者の方の送迎がしやすいようにということの一つのポイントとして考えました。可能であれば、8 月下旬の土日のどちらかに企画をしたかったのですが、群馬大学の都合等もありまして、協議をした結果、今回は 9 月の日曜日になりました。どこの時期を設定しても、例えば中学校部活動の新人戦があったり、そのような都合がある中で、可能であれば土曜日が良かったのですが、土曜日でも 9 月は無理ということで、今回は日曜日にさせていただきました。周知の方法としましては、早い段階からドクターの方からの紹介、それから構内のポスター掲示、また保護者にも「すぐる」に PDF を添付いたしまして、何度か呼びかけを行いました。その中で今回こういったところに課題があったのかというのは、またさらに検証して来年度の計画に向けて検討していきたいと考えております。昨日参加した生徒の中には、ぜひ群馬大学に行きたいとお話をしている子供がたくさんおりました。中学 1 年生の生徒さんですが、「この子は大学生レベルの視点を持っている」と、ドクターさんからも非常にお褒めの声掛けをいただきまして、絶対に群馬大学の理工学部に進学したいと言っていました。ぜひ地元の群馬大学を選ぶ子供が増えるように、今後もさらに充実した内容にしていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。 また海外派遣事業につきましては、10 名の生徒が本日の報告会でご報告をさせていただきます。だいぶ細かく生徒たちはまとめておりまして、1 人 1 人が感じたことを含めながら報告をいたします。報告会と同じ内容を基本的には各中学校で報告をする予定となっております。以上でございます。よろしくお願いいたします。
板橋委員	ありがとうございました。
教育長	それでは他に何かございますか。
山野委員	図書館は社会教育施設の一つとして、いろんな年代の方にいろんな企画をして、いつも盛りだくさんの報告をいただいて、今日も「33 名の参加」というようにきちんと数字までご報告いただいているのですが、今回いただいた図書館だよりの 9 月分を見ましたら、初めて私のためにいただいたんだと

図書館長	いうくらい興味深く、シニア世代を応援しますということで、いろんな世代に図書館に足を向けていただけるような内容をたよりで拝見しました。急な質問で申し訳ありませんが、このような事業以外に日常的な図書館利用者の年代層を伺いたいと思います。 細かい資料はないのですが、昨年度の本貸し出し状況などの結果ですと、やはり 70 代以上の方、高齢の方が多いい状況ではあります。一昨年と比較すると 30 代のご利用の方が少し減少したことがわかりまして、ちょうどその世代が子育てで忙しかったり働き盛りであったりするという世代なので、なかなか自分の時間に使えるというのが少ないかなと思います。親子の読み聞かせの時に母さん方が借りられるような本のコーナーを設けたりですとか、出張貸し出しの時に母さんにも一緒に借りていただけるような工夫を今後もしていくことで、この世代の方にも借りていただけるような取り組みと、あとはどのようにしたら若い世代に利用してもらえるかというのを引き続き検討してまいりたいと考えております。
山野委員	桐生市の人口を見ると 75 歳以上が多いですが、今の桐生市の人口と図書館の利用者の年代別の割合がだいたい同じのかなと思ったのですが、今後の図書館の立ち位置というか、今後の社会教育施設としての図書館のあり方を考えるときに、少ない人口がそこにどれだけ集まるのか、大事な場所になっていくのかなと思ひまして質問をさせていただきました。ありがとうございました。
教育長	他に何かございますか。
松本委員	まず海外派遣の関係で今日報告会があるということですが、多分今日の報告内容というのは、帰ってきてしばらく経って、中学生が振り返ってまとめたもの、整理されたものを発表すると思いますが、まとめたものでなく、帰ってきてすぐの感想や、中学生の感性で感じる海外というのはどういうものだったのか、印象的だったことについて聞かせていただければと思います。あともう一点ですが、中央公民館で市民講座兼高齢者大学特別講座が 10 月 17 日にありますが、内容を伺いたいと思います。
学校教育課長	まず生徒たちが感じた生の声というところでは、参加した子供たちの中の約半数は初めての海外で、残りの半数はちょっと海外旅行に行ったことがあるという子どもたちです。特に初めて行く子供にとってみると全てが新鮮で、まず空港のビザを通すところで、本当に 1 人 1 人並んでドキドキしている。用意するものについてガイドさんからいろいろ指示を受けながら用意をして

	いる様子が見られ、海外に行くことは本当に大変なんだなという意見がありました。また現地に着いて、ホストファミリーの家庭で2日間お世話になった感想ですが、英語を喋るというそのコミュニケーションの大切さ、自分の思っていることを伝えたい、あるいは向こうのホストファミリーの方が伝えたいことがどんなことを示しているのかというのが、やはり今ひとつ理解ができなかったということ。2日間という短い期間ではありましたが、そんな中で今後自分が大人になるのに英語の力を高めたい、普通にコミュニケーションが取れるようになりたいという生徒もありました。またいつかもう一度、今後、市の方に訪れて、可能であればまたホストファミリーと会って、再会を喜ぶようなそんな機会も持てるといいなという感想もありました。あとは食文化ですかね。食べ物に関心を持っている子供たちもありました。 パンが多かったり、ハンバーガー、そういうバーガー系が多い食事の中で、そういったものがもう本当に得意な子もありましたし、やっぱりちょっと飽きてしまって野菜が食べたいとか和食が恋しいななんて言っている生徒もありました。そういった感じたことを今日の報告会の中で報告する項目に挙げております。本当になるほどそういう視点で感じたのだなというような報告もございます。冊子にまとめたものがございますので、よろしければ後で1部ずつお配りさせていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。以上です。
松本委員	多分旅行というのと、一定期間、生活するまでいかなくても、地に足をつけてその場にいるという、その感覚というのはだいぶ違うと思います。中学生が海外派遣に行って経験したことってというのはすごいことになるのだろかなと思います。ありがとうございました。
生涯学習課長	ご質問ありがとうございます。市民講座につきましては、今回仮のタイトルでございますが、桐生への強い思いを語るということで、桐生市のメディアプロモーション戦略監であります芦澤さんに講師をお願いしまして、この方は日本テレビのBS等で番組をプロデュースされている方です。桐生にはいろんな潜在的な資源もまだまだたくさんあるというところを市民の皆様知っていただいて、市を挙げて桐生市を盛り上げていこうということで通常の高齢者大学に参加登録している方だけでなく、広く市民講座として、高齢者大学以外の市民の皆様にもお話を聞いてもらおうということで、開催をさせていただくというものでございます。
松本委員	ありがとうございます。何か興味深いお話が聞けそうですね。
教育長	他に何かございますか。

	それでは質疑も出尽くしたようですので、これをもって質疑を終結いたします。 日程第 4 次回以降の教育委員会定例会について確認いたします。 10 月定例会については、10 月 15 日（水）午後 2 時から、教育センター3 階教育委員会室 での開催を予定しています。 11 月定例会については、11 月 12 日（水）午後 2 時から、教育センター3 階教育委員会室 での開催を予定しています。 次に、12 月定例会の予定について、事務局からご提案願います。
教育部長	12 月定例会については、12 月 5 日（金）午後 2 時からの開催をご提案申し上げます。
教育長	12 月定例会については、12 月 5 日（金）午後 2 時からという提案がありましたが、よろしいでしょうか。 <異議なしの声>
教育長	それでは、12 月 5 日（金）午後 2 時に予定させていただきます。会場は、追って、ご連絡いたします。 日程第 5 につきましては、秘密会にいたしたいと思います。これにご異議はありませんか。 <異議なしの声>
教育長	ご異議なしと認めます。よって、日程第 5 につきましては、秘密会で行います。本件は秘密会となるため、傍聴規則第 6 条の規定により、傍聴の方々、報道の方々には、退場していただくことになりますので、よろしくお願いいたします。 暫時、休憩いたします。